

向陽中学校だより<第3号>



# 走れ向陽!

～夢の実現めざして～

平成30年 5月15日(火)

<発行者>校長 箭内仁史

〒976-0037

相馬市中野字桜町76

TEL35-2348 Fax35-2849

<学校目標>「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒

<重点目標> 誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く

先月28日(土)の中村一中・向陽中野球定期戦でのご声援ありがとうございました。はつらつとしたプレーが見られ見事勝利することができました。過日のゴールデンウィークはお子さんと有意義に過ごすことができたでしょうか。大きな事件、事故もなく、ご家庭でのご指導に感謝申し上げます。また、家庭訪問ではお忙しい中ご協力いただきありがとうございました。今後ともご家庭と連携を密にしていきたいと思ひます。



さて本格的に学習や部活動に取り組むのにはよい季節となりました。実際に子どもたちも文武両道に励む姿が多く、の場所で見られます。今週は中体連陸上大会が実施されます。1年生を含めどの学年の生徒からも、「おはようございます。こんにちは。」の元気なあいさつをたくさん受け、元気をもらっています。今週から教育実習(美術科)もスタートしました。

## ～本格的に生徒会がスタートしました～



今月2日(水)に前期生徒会総会が開かれました。最初に本年度の生徒会活動方針として(活動テーマ)『向陽のWA～「ひとり」は「みんな」のために～』が〇〇生徒会長から報告されました。(話) 思いや考えを相手に伝える手段として「対話」をする。対話の場を大切にする。(和) 思いや考えを共有することで仲間と結束(調和)していく。いじめのない平和な学校をつくる。(輪) 結束した仲間と手を取り合って進んでいく。リーダーシップとフォローシップの両輪をうまく動かして、全校生徒で車輪のようになり前に進んでいく。向陽中学校がひとつつながって前進していこうというすばらしいテーマができあがりました。



一人ひとりが自分の思いや考えを持つこと。次にそれらをお互いにしっかり伝え、しかり受け止めること。その上で、目標に向かい仲間と団結して取り組んでいくこと。新しいステップへ一歩を踏み出し、お互いが思いやりの心を持ち、支え合っている向陽中を目指すという前向きな気持ちが込められています。本年度の重点目標「誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く」に通じるものがありうれしい限りです。

一人ひとりが自分の思いや考えを持つこと。次にそれらをお互いにしっかり伝え、しかり受け止めること。その上で、目標に向かい仲間と団結して取り組んでいくこと。新しいステップへ一歩を踏み出し、お互いが思いやりの心を持ち、支え合っている向陽中を目指すという前向きな気持ちが込められています。本年度の重点目標「誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く」に通じるものがありうれしい限りです。

執行部への質問「学校全体で取り組むイベントを企画してほしい」、というテーマに沿う意見も出されました。その後、各種専門委員会や部活動の今後の活動計画や予算などの提案がなされ、承認されました。「給食時に放送を流してほしい、廊下に花瓶を置いたらどうか」等前向きな意見とそれらに対する回答がなされました。最後の講評では、伊東教頭が「質疑→応答→更に質疑をするという深い話し合いがなされた。返事や発表の声がはっきりしていてすばらしかった。今後、同じ方向に向かって取り組んでほしい」という言葉で結びました。

## ～読解力の育成～

本年度、相馬市内の小中学校で一斉に読解力の育成に力を入れることになりました。今後入試改革が進み、長文を読んで、要約したり自分の考えを書いたりする等の読解力を試される問題が多く出題されます。過日相馬市教育委員会からの文書が配付されましたが、学校に生徒全員に新聞やコラムが配信され、1年生は新聞を読んで興味を持った記事を選んでタイトルを付け、自分の考えや感想をまとめるようになります。2, 3年生はコラムを読んで、要約して感想をまとめるようになります。ぜひご家庭でも一声かける等の応援をしていただきたいと思います。

## 〔5月〕学校経営の重点

～どの生徒も「やる気・本気・根気」～

5月の学校生活目標：「はじめのある集団行動を行い、相手を尊重した言動をとることができる」

- ◇指導の重点（1年）規則正しい生活習慣を身につけさせる。
- （2年）学校生活にはじめをつけさせる。
- （3年）望ましい人間関係の構築。

☆『いじめアンケート』の実施、『情報モラル確認日』の配付

### 1 一人一人の生徒に、基本的な学習方法の確認と定着を

- (1) 一人一人の生徒に基本的な学習方法の確認と定着を
  - 学習の準備、授業中の姿勢、返事・発表の仕方、ノートの取り方、後片付け
  - 適量の宿題、自主学習の進め、家庭学習の習慣化「家庭学習スタンダード」
  - 各教科に応じた学習の仕方『学び方』の指導、読書、学習意欲の高揚

#### 学習のきまり5カ条

- |             |               |             |
|-------------|---------------|-------------|
| 1. 注意深く、見る  | 2. 集中して、聞く    | 3. 少し考えて、読む |
| 4. 大きな声で、話す | 5. 要点をおさえて、書く |             |

→「生徒全員が学び喜びを感じる授業づくり」をめざして：ふくしまの「授業スタンダード」の実践

### (2) 何のために勉強をするのか

- 長期、短期の目標を持たせて（6／19、20期末テスト）

### 2 どの生徒にもやる気（⇒本気⇒根気）を起こさせる支援・指導を

#### (1) どの子にも、やる気を喚起する担任としての動機付け、奨励、賞賛、評価、配慮・支援を

先生からほめられたり、励まされたりした子どもは、

- ①やる気が出てきます
- ②自信がついてきます
- ③希望がわいてきます
- ④やり始めたことが楽しくなります
- ⑤能力が伸びてきます

ほめ上手な先生は一人ひとりの子どもを大切に、学級経営もうまくいっています。

- どの生徒にも、「新しいこと、やってみたいことに対する挑戦する心」「分かりたい、できるようになりたいという意欲」がある。

（ → 活動する場、活躍する場、果たさなければならない役割や立場 など）

#### (2) 様々な取り組みの中で、どの子も活躍し認めてもらう場の設定→『自己有用感』

- 各教科の授業で「分かった、できた」体験を→「やろうとする」意欲付けに
- 委員会や生徒会活動（5／2生徒会総会）の中で → 責任ある言動、創意工夫
- 中体連大会に向けた特設陸上部や常設運動部活動の中で  
→「自分を磨き・鍛え・高める」体験、「何事にもくじけず、やり抜く」体験を

### 3 一つしかない「命」や「身体」を大切に作る指導の充実を

#### (1) 「命」や「身体」を大切に作る指導は、日常の指導の積み重ねで

- 道徳教育、生命尊重に関わる各教科等での指導、日常生活の指導の中で

#### (2) 交通事故ゼロ、学校事故ゼロを

- 安全な登下校に留意させ、登下校や地域での事故に遭わない歩行の仕方、安全な自転車の乗り方の指導を徹底する。下校時には必ず一声を
- 落ち着いた学校生活をする中で、校内での事故ゼロをめざす。
- 安全に留意した有意義な休日や連休の過ごし方の指導を（家庭での役割、色々な体験をするチャンス）

#### (3) 健康診断の結果を生かす

- 健康診断の結果を健康増進・健康管理に活用する。